

2 調査資料部

調査資料部では各種アンケートの実施と結果の分析，全国学力・学習状況調査，教研式標準学力検査（CRT-II）の結果の分析を通して，研究の成果と課題の整理及び授業改善の方向性の提案をしてきた。

(1) 授業改善アンケート（毎学期実施，教員対象）の実施

平成29年度から，本校の学習過程イメージ図と宮城県教育委員会から示された「学力向上に向けた5つの提言」を基に作成した以下のような授業改善アンケートを職員対象に実施している。

< 授業改善アンケート質問項目 >

1	児童が自ら問いを見いだす(課題を発見できる)よう教材や発問を工夫していますか。	5 4 3 2 1	つかむ
1-a	児童の興味・関心を高めるような教材の提示を工夫していますか。	5 4 3 2 1	
1-b	生活経験や既習事項をもとに生まれた疑問や気づきを児童に発言させていますか。	5 4 3 2 1	
2	児童が学習の見通しをもつよう工夫をしていますか。	5 4 3 2 1	見通す
2-a	めあてを児童との対話を通して設定していますか。	5 4 3 2 1	
2-b	何がどのようにできればよいのかがとらえやすい，簡潔で焦点をしぼっためあてを設定できていますか。	5 4 3 2 1	
3	児童一人一人に自分の思いや考えを伝え合わせる時間を設定し，その在り方を工夫していますか。	5 4 3 2 1	解決する
3-a	二人で，あるいはグループで話し合わせ，学習が深まるように工夫していますか。	5 4 3 2 1	
3-b	対話の目的を明らかにし，話し合いの方向性がぶれないように働きかけていますか。	5 4 3 2 1	
4	児童一人一人に学びの成果を実感させる時間を設定し，その在り方を工夫していますか。	5 4 3 2 1	確かめる
4-a	対話を通じた考えの変容や深まりを見取り，認めることができますか。	5 4 3 2 1	
4-b	学びの足跡がよく分かる板書をつくることはできていますか。	5 4 3 2 1	

(2) 学校評価アンケート（年2回実施，保護者対象）の実施

保護者を対象に毎年実施している学校評価アンケートに，児童の家庭学習の様子についての質問項目を設け，学校では見えない家庭学習への取組の様子を調査した。

(3) 実態調査アンケート（年2回実施，全校児童対象）の実施

①調査の概要

[目的]

各教科・領域の学習に対する児童の意識を調査して変容を考察するとともに日々の授業実践に生かす。

[内容]

以下の3項目について調査を行う。

- ・各教科・領域の学習に対する児童の「関心・意欲・態度」について
- ・児童の「学び方」について
- ・児童が各教科・領域の学習の「有用性」を感じているかどうかについて

[方法]

学級ごとに実態調査アンケート（質問紙法）を実施し，意識調査を行い変容を考察する。

[計画]

6月・・・第1回実態調査アンケートの実施

7月・・・第1回実態調査アンケートの集計と考察

1月・・・第2回実態調査アンケートの実施

1月・・・第2回実態調査アンケートの集計と考察並びに第1回との比較

②アンケートの質問項目

国語の学習 アンケート

年 組 番

氏名 ()

☆ あなたは国語についてどのように思っていますか。あてはまるものを1つずつえらんでください。

あてはまる	どちらかと いえば、あ てはまる	どちらかと いえば、あ てはまらな い	あてはまら ない
-------	------------------------	------------------------------	-------------

- 1 国語の勉強は好きです。 ----- 1 - 2 - 3 - 4
- 2 国語の勉強は大切です。 ----- 1 - 2 - 3 - 4
- 3 国語の授業の内容は、よく分かります。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 4 読書は好きです。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 5 国語の授業で今日のめあてや目的が分かって
取り組んでいます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 6 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分
の考えを話したり、書いたりしています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 7 国語の授業で発表するとき、うまく伝わるよ
うに話の組み立てを工夫しています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 8 国語の授業で考えを書くとき、考えの理由が
分かるように気をつけて書いています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 9 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のま
とまりごとに内容を理解しながら読んでいま
す。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 10 国語の授業で学習したことは、将来社会に出
たときに役に立つと思います。----- 1 - 2 - 3 - 4

海洋教育 アンケート (3～6年)

年 組 番

氏名 ()

☆ あなたは「海に関する学習」についてどのように思っていますか。あてはまるものを1つずつえらんでください。

あてはまる	どちらかといえは、あてはまる	どちらかといえは、あてはまらない	あてはまらない
-------	----------------	------------------	---------

- 1 「海に関する学習」は好きです。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 2 「海に関する学習」は大切です。-----1 - 2 - 3 - 4
- 3 「海に関する学習」の内容は、よく分かります。-----1 - 2 - 3 - 4
- 4 観察・実験や調査は好きです。-----1 - 2 - 3 - 4
- 5 「海に関する学習」で今日のめあてや目的が分かって取り組んでいます。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 6 「海に関する学習」で自分の予想をもとに、観察や実験、調査の計画をたてています。-----1 - 2 - 3 - 4
- 7 「海に関する学習」で観察や実験、調査の結果からどのようなことが分かったのか考えています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 8 「海に関する学習」で観察や実験、調査の進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えます。-----1 - 2 - 3 - 4
- 9 「海に関する学習」で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。-----1 - 2 - 3 - 4
- 10 「海に関する学習」で学習したことを、ふだんの生活の中で活用できないか考えています。----- 1 - 2 - 3 - 4
- 11 「海に関する学習」で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思います。----- 1 - 2 - 3 - 4

(4) 教研式標準学力調査 (CRT-Ⅱ) の実施と結果の分析 [平成30年1月実施]

<第1学年> (現2年生)

国語

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「国語への関心・意欲・態度」「言語についての知識・理解・技能」は全国平均を上回っており、学習内容が定着している。 ・「話す・聞く能力」「読む能力」が全国平均を下回っており、補充学習が必要である。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・句点や読点を正しく付けることができた。 ・「ラッパ」「チョコレート」などの片仮名や「金」「水」などの読み仮名を正しく書くことができた。 ・場面の様子を読み取ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いて、質問に答えることが難しかった。 ・絵を見て、どんなことを書けばよいかを選ぶことができなかった。 ・登場人物の行動を正しく読み取ることが難しかった。
<授業改善に向けた取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習に継続して取り組ませたり、ノートに正しく文章を書く練習をさせたりすることで、書く力を高めていく。 ・授業中だけでなく朝の会や帰りの会の時間にも、担任の話を聞いて大事なことを落とさないようにメモをして確認する時間を設ける。 ・教科書に出てくる教材文だけではなく、いろいろな本に触れさせると同時に、登場人物の行動や様子について、どのようなことが書いてあるかを全体で確認する活動を取り入れる。 	

算数

<全体傾向>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」は全国平均を上回っている。 ・「数量や図形についての技能」は全国平均とほぼ同等だった。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・減法の繰り下がりの仕方を正しく説明することができた。 ・長さやかさの比較の仕方を理解し、答えることができた。 ・積み木の特徴から、ものの形やものの位置を正しく答えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整理した図から正しく情報(数値)を読み取ることができなかった。 ・加法か減法かを問題文から判断し、正しく立式することができなかった。 ・絵を見て、「どちらが何本少ないか」を答えることが難しかった。
<授業改善に向けた取組>	
<ul style="list-style-type: none"> ・1学期や2学期に学習した内容を忘れないように、家庭学習で復習をさせる。 ・文章題に取り組みさせる際に絵から問題文を考えさせたり、立式した根拠を話し合わせたりすることを通して、正しく立式する力を付けさせる。 ・「みやぎ単元問題ライブラリー」に掲載された問題や友達が作った問題等の様々な文章題に触れさせる。 ・たし算やひき算カードを並べたり、積み木で遊ぶ活動を行ったりするなどの操作活動を通して、算数の勉強の楽しさを味わわせていく。 	

＜第2学年＞（現3年生）

国語

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体の得点率は全国平均の得点率をやや下回っているものの、昨年度の正答率と比較すると数値に大幅な伸びが見られた。 ・「読む能力」については全国平均の正答率とほぼ同等の得点率であった。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年までに学習する漢字の読み書きが正しくできた。 ・説明文に書かれていることを適切に読み取り、聞かれていることに適切に答えることができた。 ・物語文を適切に読み取り、登場人物の表情が変化した理由を選び出すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の様子をあるものに例えて表現している文章を見付け出す問題の正答率が低かった。 ・段落ごとの内容を理解し、指定された内容を選ぶ問題の正答率が低かった。 ・文のつながりを考えてそれに合った接続詞を選択する問題の正答率が低かった。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・物語文や説明文の単元において、どの段落のどの文章を指しているのかを見付ける活動を意図的に設定する。 ・接続詞と前後の文の関係に着目させ、使い方について理解させる。 	

算数

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体の得点率は全国平均の得点率をやや下回っているものの、昨年度の得点率と比較すると数値に大幅な伸びが見られた。 ・「数量や図形についての知識・理解」については全国平均の得点率を上回った。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・グラフに示された数量を、表に整理し直すことができた。また、グラフや表から聞かれている数値を読み取ることができた。 ・物差しの目盛りを読み、テープの長さを正しく求めることができた。 ・100や10のまとまりを作って物の数を数えることができた。 ・数の大小関係に気を付けながら数直線上の数を正しく答えることができた。 ・繰り上がりのあるたし算の筆算を正しく行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り下がりのあるひき算の筆算を正しく行うことができなかった。 ・全国平均と比較するとかけ算九九が十分に定着しているとは言えない。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九やひき算の筆算について、繰り返し練習できるように家庭学習の課題を与えていく。 ・課題解決の際に式や筆算の意味を頭の中で考えるだけでなく、自分で図や絵をかきながら考えさせる活動を取り入れる。 	

＜第3学年＞（現4年生）

国語

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く能力」「読む能力」については全国平均を上回った。 ・「言語についての知識・理解・技能」についてはB（概ね満足）段階に到達している児童が多かった。 ・「書く能力」については、全国平均を下回った。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・内容について大事なことを落とさずに聞くことができた。 ・問いかけ文や要点を読み取ることができた。 ・指示語を理解し、適切に使うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を工夫して書くことができなかった。 ・組み立てメモを見て、内容に合う会話を書くことができなかった。 ・いろいろな読み方をする漢字を読むことができなかった。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を使った短作文を取り入れ、いろいろな読み方に親しませながら漢字練習をさせる。 ・スキルタイム等でフリートークを行い、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりする活動を取り入れる。 ・「組み立てメモ」を生かして、日記や作文を書く活動を取り入れる。 	

算数

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に算数が得意になった児童も増えたが、苦手を感じる児童も増えた。 ・「数学的な考え方」については、昨年度よりも正答率が高かった。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・時刻を求めることができた。 ・身の回りの物を活用して、数学的に考えることができた。 ・大きな数の大小比較することができた。 ・長さや重さの単位を理解し、解答することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりのあるわり算において立式はできるが、計算ができなかった。 ・整数－分数の問題ができなかった。 ・円に関する基本的な用語を間違えて解答していた。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別に目標を決めて計算練習をさせる時間を設け、基礎的・基本的な計算力を向上させていく。 ・既習の内容を復習する時間を取り入れ、基礎基本の定着を図る。 ・身の回りの物を活用したいろいろな問題に触れさせる機会を多くする。 ・ケアレスミスが多いので、再度確認する習慣を身に付けさせる。 	

＜第4学年＞（現5年生）

国語

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・「言語についての知識・理解」は定着が見られ、全員がB（概ね満足）段階に到達している。 ・「話す・聞く能力」「書く能力」についてはA（十分満足）及びB（概ね満足）段階に達している児童の割合が全国平均を大きく上回った。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年で学習する漢字を書くことができている。 ・物語文の叙述に即して場面の様子や人物の心情を適切に捉えている。 ・必要な資料やメモを適切に選んで作文に生かすことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み（「節目」・「速達」）を正しく答えられなかった。 ・物語文を書くために筆者がどんな工夫をしているかを適切に答えられなかった。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・スキルタイムや宿題等を活用し、手紙の書き方、国語辞典の使い方、指示語の内容理解、漢字の読み書きなどの復習を行い、学習内容の一層の定着を図る。 ・ある程度長い文章を決められた時間で読むことに慣れさせ、できるだけ語彙を増やしていく。 ・作文指導の場面で、お互いの作文を読んで友達がどんな点に工夫して書いているかに着目して感想を記述させる。 	

算数

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・算数への関心・意欲が強く、基礎的・基本的な内容の定着が見られる。 ・「数学的な考え方」についてはA（十分満足）段階に到達している児童の割合が全国平均を大きく上回った。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな数の構成を正しく捉えることができている。 ・三角定規や分度器を使い、180°より大きな角度を工夫して求めることができている。 ・折れ線グラフから必要な情報を読み取り活用することができる。 ・小数の大小関係を理解し、位をそろえて計算することができる。 ・四角形の性質と対角線の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の性質を使って計算の仕方を工夫する問題に答えられなかった。 ・百の位までの概数にしたとき、800になる整数の範囲を答えることができなかった。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達がノートや黒板に書いた式の意味や工夫して計算している点について、ほかの児童に説明させる場面を意図的に設ける。 ・日常生活の中で概数を使って捉えるとよい場面を見付けさせ、位の大きな数を素早く概数で捉える練習をさせる。 	

＜第5学年＞（現6年生）

国語

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・「話す・聞く能力」については全国平均を上回っている。 ・「書く能力」「読む能力」については全国平均をやや下回っている。 ・「言語についての知識・理解・技能」については補充学習が必要である。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・説明を注意深く聞き取り，話の内容を適切に捉えることができた。 ・意見文を読み，その書き方の工夫を理解し，適切に選ぶことができた。 ・話合いの様子を読み，その情報を整理することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の主題を捉えたり，空欄に入る適切な表現を選んだりすることができなかつた。 ・漢字の由来を理解し，適切に選ぶことができなかつた。 ・物語文の叙事的な内容を読み取ることができなかつた。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な説明的文章に触れる機会を設け，その要旨をまとめる活動を取り入れ，正しく主題を捉えることができるようにする。 ・言語事項に関する指導をていねいに行うとともに，授業の導入や宿題等で，漢字の由来や仮名遣いの復習を定期的に取り入れるようにする。 	

算数

＜全体傾向＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・「数量や図形についての知識・理解」について問われる問題の正答率は全国平均を上回っている。 ・「数学的な考え方」については，十分に定着していない傾向が見られた。 	
全国との比較で上回るもの・平均並み	全国との比較で下回るもの
<ul style="list-style-type: none"> ・直方体の体積の求め方について理解し，求めることができた。 ・三角形や四角形の角の特徴を理解し，内角の和の合計を求めることができた。 ・合同な図形や対角線について理解し，選択肢から選ぶことができた。 ・小数の積を求めたり，適用問題の意図を理解し求めたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数のわり算について，あまりの求め方の理解ができていなかった。 ・分母の違う分数のたし算，かけ算について通分の理解ができていなかったため，答えを求めることができなかった。 ・計算のきまりを見付ける問題では，求められていることを理解できていなかった。
＜授業改善に向けた取組＞	
<ul style="list-style-type: none"> ・小数や分数の計算問題などの数量関係についての定着を重視した家庭学習プリントに取り組みせ，定着を図る。 ・図や式等を用いて問題を解決し，児童が互いに図や式の意味を説明し合う活動を設ける。また，式の意味を言葉で過不足なく説明できているか確認し合う時間を設ける。 	

(5) 全国学力・学習状況調査の結果から [平成30年4月実施]

① 学力調査の結果から

国語科	算数科	理科
概ね身に付いていること（正答率が高かった問題）		
<ul style="list-style-type: none"> ・正しく漢字を使うこと。 ・文章の説明として適切なものを選択すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1に当たる大きさを求めること。 ・数直線上で、求める数がどこに当たるのか表すこと。 ・3桁の整数同士の大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書くこと。 ・合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から、正しく図形を見いだすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に観察するための適切な方法を選択すること。 ・鳥や人など、生物の体のつくりについて適切に答えること。 ・ろ過の適切な操作方法を選択すること。
更に身に付けさせたいこと（正答率が低かった問題）		
<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の文章を読んで、聞かれていることに対して適切な答えを選択すること。 ・登場人物の心情について、情景描写を基に捉えること。 ・間違っている文を選択し、正しく書き直すこと。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周率の意味について理解すること。 ・分度器の目盛りを読み、角の大きさを求めること。 ・空間の中にあるものの位置を正しく書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から、適切な内容を選択すること。 ・海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断して適切な内容を選択すること。 ・食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選択すること。
<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい話し合いの仕方や、書き方の工夫から適切な答えを選択すること。 ・目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えること。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で使える時間の中で、必要な時間を求めること。 ・必要な時間を、表に整理して求めること。 ・角の大きさが示されている根拠を記述すること。 	

② 学習状況調査の結果から

よい点 (全国よりもよい児童の割合が多い項目)	改善が必要と思われる点 (全国よりもよい児童の割合が少ない項目)
<ul style="list-style-type: none"> ・先生はよいところを褒めてくれている。 ・家で学校の宿題をやっている。また、自学自習において、教科書を使いながら学習している。 ・自分で計画を立てて勉強している。 ・5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会があった。 ・算数科や理科の勉強が好き。 ・算数科や理科の勉強は大切である。 ・算数科や理科は，将来社会に出たときに役に立つ。 ・観察や実験を行うことが好き。 ・理科の授業では，観察や実験を行った。 ・5年生の時，理科の授業がおもしろいと思った。 ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お家の人と学校での出来事について話をする。 ・今住んでいる地域の行事に参加している。 ・地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり，一緒に遊んだりすることがある。 ・算数科の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考える。 ・算数科や理科の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考える。 ・国語 A，国語 B，算数 A，算数 B の解答時間は十分だった。